



上越市議会議員 宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

- ◆6月議会～燃料・物価高騰対策～
- ◆宮崎ともこの一般質問～快適な高齢者の移動を望む！～
- ◆地域の情報～こがね丸に期待！／道路・河川工事の進捗～
- ◆議員活動奮闘記～来賓挨拶あるある～

Vol.13

発行月 2023年7月

所属

- 会派 創風
- 総務常任委員会
- 災害対策特別委員会委員長
- 議会運営委員会
- 防災士議員連盟
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

- 〒943-0231
- 新潟県上越市三和区鴨井471
- 携帯 090-3545-6087
- q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
- FAX 025-333-0424

大事な市政をしっかり
チェックします！

市内の災害、
減災対策に
奔走します！

市民のために
変わら、進む
市議会運営に
つとめます！

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」配信中です！

パソコン、携帯、スマホ
から是非ご覧ください。



宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～来賓挨拶あるある～

コロナ渦を経ておかげさまで、様々な会合にお招きいただくことも増えました。本当に、本当にありがとうございます♪
来賓紹介の後、ドキドキのご挨拶では、きっと誰も聞いてないんだろうな～とか、早く飲みたいよね～とか、色々思いを巡らした結果、もっか私の目標は「心を込めて簡潔に！」。
一期一会のこの時間、お招きいただいたことに感謝して、今日も登壇させていただきます！



活動記録 (4/11～6/30)

- 市内行事（三和区いきいき輪投げ大会／三和方面隊連合演習／上越市消防点検他9ヶ所）
- 市内団体会議参加（三和区地域福祉計画他16ヶ所）
- 直江津港湾総会、佐渡汽船こがね丸内覧会他3ヶ所
- 学校適正配置住民説明会参加（三和区）
- 市民要望の調査、立会等（道路、河川、砂防、教育、農業、産業、環境、雪対策等10件）
- 調査研究（事業所の価格転嫁について）
- 東京電力防災VR体験／食育フェア／高齢者の移動手段を考えるオンラインセミナー／赤十字フェア／市内の景観づくり活動／市の農業政策／地域の公共交通の課題／自治体・公共Week 2023（4月）
- 広報公聴委員会参加
- 議員勉強会（いじめ、不登校の未然防止に向けて）
- 所管事務調査傍聴（みちのりホールディングスの事業について）
- 地域協議会傍聴（高田区／北諏訪地区／三和区／牧区／大島区／吉川区／大潟区）
- 本会議（6月6日～6月20日）／臨時議会（5月23日）
- 総務常任委員会（6月7日）
- 一般質問（6月14日）他
- 議会運営委員会（3回）
- 議会運営委員会WG会議（通常議会について）
- 議員連盟総会（保倉川放水路整備促進議員連盟）
- 県道新井柿崎線議員連盟／農議連
- 会派勉強会（1回）



赤十字フェアを見学

●9月議会の予定
9月4日（月）～9月27日（水）
議会傍聴に是非お越しください！

地域の情報

◆上越観光の起爆剤となるか!?自家用車でもらくらく♪こがね丸



最大旅客定員は584人。
車両は150台が乗船可能。

市議会においてもこれまで「車両を運べる船を！」と提言してまいりましたが、この度、ようやく佐渡汽船（直江津～小木航路）にカーフェリー「こがね丸」が加わりました。今後佐渡市は、佐渡金山の世界文化遺産登録の可能性や北陸新幹線の敦賀延伸など、人流増が大いに期待されます。当市は、このチャンスを逃してはならないと、強く思った内覧会でした。



愛犬と一緒に佐渡へ！
(ウィズドッグルーム)

◆長年の要望、防雪柵着々と/水害が心配、護岸の状況見守りながら

県道新井柿崎線では新たに防雪作事が始まりました。今後も、冬道の通行不安解消に向けて引き続き要望してまいります。

また、河川において護岸の微妙な変化は災害に繋がる危険性もあります。住民の皆様のお声をお聞きしながら、今後も県、市と共に改善へ向けて取り組んでまいります。



地域の要望が形となっています。
(県道新井柿崎線/三和区)

宮崎とむこの一般質問（抜粋）

私がずっと続けてきた各自治区の地域協議会への傍聴。この度の質問は、その中で気付き、学ばせていただいた中での、市への提案です。

2点目は、当市の「景観」や美しいまちなみを積極的にPRすることが、市のイメージアップにも繋がり、観光や人流増、そして居住定住にも寄与するのではないか?という視点のもと、市の取り組みを聞きました。

3点目は、ますます進む高齢化社会における公共交通の課題について。上越市公共交通後期策定年度にあたり、高齢者の自由な移動を確保するためには、公共交通を使わない、使えない方々へのアンケート調査が必要と、市に要望いたしました。このテーマは、私の公約でもあり、昨年3月の一般質問に引き続き再度行つたものであります。



上越市議会では、マスク着用は任意となりました。次回はノーマスクで臨めたらと思います。

質問1
この2～3年は、地域の方向性を決める重要な時期。その要となる地域協議会等が使える「ファシリテーター制度」を導入してはどうか?
＊ファシリテーターとは、会議等の進行の技術や知識を持つ人のこと

A、基本的にには地域協議会や市の職員がその役割を担うことが重要と考えるが、今後地域協議会のあり方を見直す中で、その必要性も検討していくべきたい。

Q、専門家に頼む効果を私自身が体験した。主な効果は、①言いやすい環境作りができる。②新しいアイディアが出やすくなる。③満足度と一体感が増す。④煮詰まつてもじっくりと議論を深められるなど。こうした客観的な立場の人も必要と考えるがどうか?

A、まずは市の職員も含め、会議の効果的な進め方などを学んでいきたい。会議の効果的な進め方などを学んでいきたい。

質問2
上越市はもっと景観コンテストに挑戦すべき。他の者から評価されることが、市民活動団体や住民のモチベーションアップに繋がると考えるがどうか?
A、これまででも高田の雁木町家をテーマにした活動や、直近では頸城区の鉄道遺産を活用した取り組み団体などへ募集の案内等を行なった。当市の景観が、人から評価されることの効果は必要と考えるので、今後も情報提供をしていく。

質問3

A、公共交通は全市民のためのものという観点から、市民アンケートや利用調査、住民意見などを参考に計画を策定していく方針である。



6/6～6/20 6月定例会（議会）

議案12件/同意案4件/諮詢3件/
計19件を審議
後送議案 同意案4件/諮詢6件

■6月補正予算（一般会計補正予算）

2,687,407,000円

うち、一般財源から926,465,000円を支出

主な内訳

1.エネルギー、食料品等の価格高騰対策

①住民非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円/住民税均等割の課税世帯に対し1世帯当たり1万5千円を支給)→4500世帯が対象。

②子育て世帯に対し、18歳以下の児童1人当たり1万円を支給。

→27500人が対象。

③介護保険施設・障害者施設への支援（高熱水費及び燃料費の一部を支援/条件あり）

④畜産振興対策事業（乳用牛又は肉用牛を飼養する畜産農家を対象に、租飼料の価格上昇分に係る費用を支援/条件あり）

⑤農業水利施設に係る電気料金の高騰分の一部を補助。（土地改良区等）

⑥中小企業者等を対象に、最大30万円の支援金を支給。（条件あり）

2.財産管理費

①現在休止している上越観光物産センターの用地測量及び用地調査業務に係る測量委託料（9,196,000円/今後、より民間などが利活用しやすくするため）

（抜粋）

どうなった？宮崎の一般質問→その後

議員提案が、市政に反映されるまでにはなが~い道のりがあります😱
宮崎が議会で質問した案件がこの度、進展いたしました！（上越市オリジナル婚姻届と出生届が完成）また、1階庁舎ロビーも少しずつ改善が見られます。質問のその後をきちんと追っていくことも議員の責務。引き続き、市民の良いことのために頑張ります！



令和5年度農業政策はどうなる？

議会で決議した事業が、どのように現場へ伝わっていくのか？を学びに就農者対象の説明会（上越市主催）に参加いたしました。市からは、10以上の交付金や補助金、そして新たな認定制度等について説明がありました。

●「人・農地プラン」は、令和5年4月から法定化され「地域計画」と「目標地図」という視点で地域の農地がより適切に利用されるよう、取り組みが始まります。市では今後、地域へ出向いて農業者や地域住民を交えた話し合いを設定していくとのことです。

●中山間地域農業の方向性を定めた「将来ビジョン」（市内8地区）の実施に関わる補助金も新設されました。

●当市においても「アライグマ」の被害が増えています。県では、今後5年間その防除に取り組んでいきます。

上越市は優良な農業地帯。それだけに就農者だけでなく、地域全体で考えていく必要があると痛感いたしました。

詳しくは、上越市HP及び、かけはしをご覧ください →

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

最新の自治体DXと防災情報を学びに！

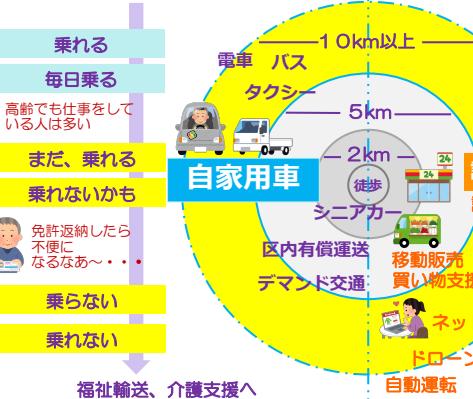
自治体・公共week 2023（東京国際展示場）へ行ってまいりました。防災ヘルメットや携帯用トイレ、河川用アプリなど、防災分野の素材や技術開発には目をみはるものがありました。

人口減少で手薄になる地域防災には、デジタルの力は不可欠と感じます。参加企業には女性職員も多く「防災を日常の中で楽しく身近に考えてほしい」の一言に納得。私も伝えています！

↑真わない、漏れない、使いやすい携帯トイレ
↑自転車など普段にも使えるヘルメット。フィット感抜群！
↑輸送業界の課題を解決するために生まれた電動自動車

高齢者を取り巻く環境（移動編）

地方は車社会～不安な期間をどう過ごすか？



— 図解でわかりやすく説明いたしました —

Q、デマンド型交通や自家用有償運送は、道路運送法による運行区域の条件がある。道の動向も含め、高齢者やそのご家族の不安も十分に配慮しながら、後期の公共交通計画策定に取り組んでいきたい。高齢者が生き生きと自由に移動できる社会に向け、どう取り組んでいくか。公共交通に加わった。今後は、民間事業者と連携して、どう取り組んでいくか。

A、高齢者の生活の質の向上を目指して！
①移動が安心、安全であること。
②外出の機会が増えること。
③心身が、より健康になること。
④乗ること自体が楽しく、くわくわすること。

一議会の様子はこちらでどうぞ（本会議/委員会等）→ joetsu-city.stream.jifit.co.jp